キャンパス設計与条件設定技術

多角的な調査・分析に基づくマスタープラン作成のサポート技術

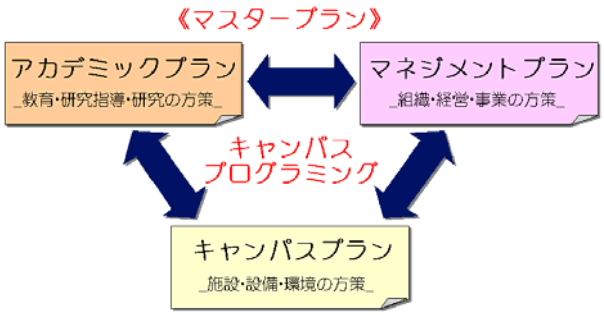
お　客　様　の　メ　リ　ッ　ト

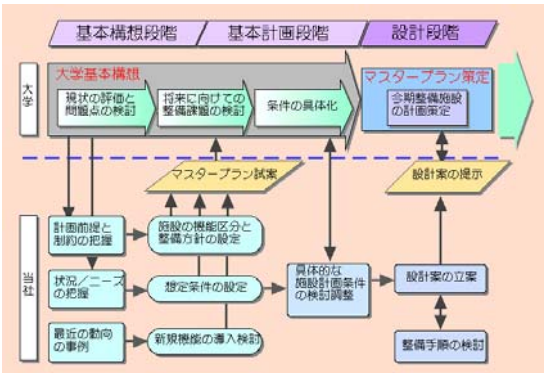
〇教育･研究の将来計画、経営･事業の戦略に合わせた施設の将来構想が具体化されます。

〇カリキュラムに基づく必要施設規模の算定等により設計条件が明確になります。

技　　術　　の　　特　　徴

■マスタープラン作成フロー





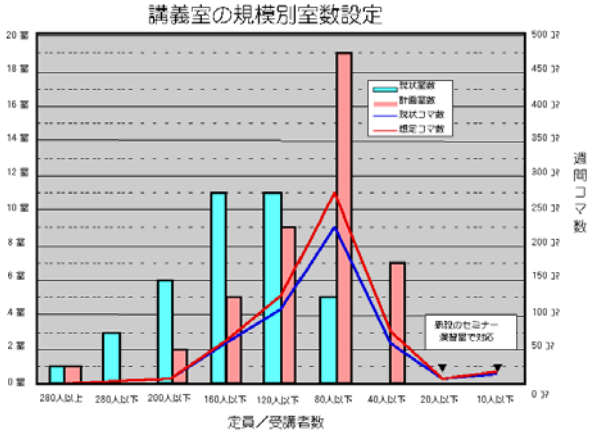
〇教育・研究の将来計画及び経営・運用の方針に中長期的視点で対応できる施設・設備・環境の整備計画づくりが大切です。

〇施設設計以前の計画づくり―学内における構想から計画段階において、様々な視点からの検討・合意形成のお手伝をいたします。

実　　績　　・　　事　　例

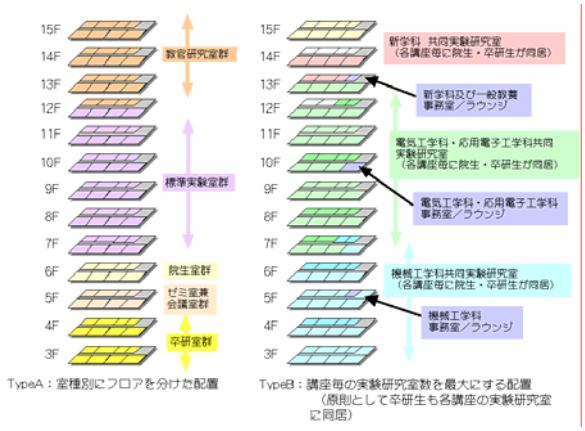
〈施設規模の算定・レイアウトプラン作成事例〉

■一般講義室の定員規模の設定



〇現状の教室利用状況や、将来のカリキュラム想定に関する分析に基づく規模別教室数の最適化設定例です。

■研究施設の分析およびレイアウトプラン



〇限られた校地を有効利用し、さらに将来の学部学科編成や研究指導スタイルの変化に対応するフレキシビリティを考慮した研究棟の提案例です。

S05C01

Copyright(c) 2000年 大成建設株式会社　著作権者の許可なく 複製、転載、第三者開示等の行為を禁止します。